

第251回教育研究評議会議事要録

1. 日 時 平成27年11月24日(火) 13:30~16:20
2. 場 所 事務局 第2会議室
3. 出席者 中井学長、功刀副学長、三浦副学長、神子副学長、
千葉副学長、小沢副学長
千葉人間発達文化学類長、朝賀評議員、
久我行政政策学類長、田村評議員、鈴木評議員、
真田経済経営学類長、阿部評議員、佐野評議員、
二見共生システム理工学類長、山口評議員、
小島統括学系長、中村事務局長
【オブザーバー】青柳理事
4. 欠席者 松下評議員、佐藤評議員

5.

審議事項

1. 「福島大学農学系人材養成機能のあり方に関する第1次報告書」を受けての今後の対応方針について 資料1
2. 「官公庁等定年退職者を対象とした特任教員制度の運用について」の改正について 資料2
3. 学内諸規則等の制定について
 - ・「独立行政法人等の保有する個人情報適切な管理のための措置に関する指針」及び「個人情報保護管理規則」について 資料3
 - ・「福島大学学類長選考規則」について 資料4
 - ・「国際交流センター規則」、「国際交流センター運営会議規程」及び「国際交流センター特任教授等の選考に関する要項」について 資料5

報告事項

1. 国内出張宿泊事実確認書類の提出について 資料6
2. 教育研究費の使用に関するコンプライアンス教育等実施計画について 資料7
3. 第3期中期目標・中期計画の確認事項について 資料8
4. 国立大学法人福島大学の平成26年度に係る業務の実績に関する評価結果について 資料9
5. 就業規則の制定等について 資料10
6. 学系所属と研究費配分に関する整理について 資料11
7. 教員の学系所属について 資料12

8. 「ふくしまの未来を担う地域循環型人材育成推進室要項」の制定について

資料 1 3

9. 特任専門員（日本語教育担当）の採用について

資料 1 4

【確認事項】

第 2 5 0 回教育研究評議会議事要録を原案のとおり確認した。

【審議事項】

(1) 「福島大学農学系人材養成機能のあり方に関する第 1 次報告書」を受けての今後の対応方針について

中井学長より、標記「第 1 次報告書」の内容について、功刀副学長から説明するとの発言があった。

功刀副学長から、資料 1 に基づき、福島大学農学系人材養成機能のあり方に関する協議会から報告があった「第 1 次報告書」の内容について説明があった。

続けて、中井学長から、報告書を受け、本学として新たな学士課程レベルの教育研究組織の設置に向けて検討を進めることの提案があった。

質疑の中で、中井学長から以下のような説明があった。

- ・これから全学的な教育研究組織の見直しを図り、人的資源の再配置の検討を開始する予定であること。

- ・農学専門の教員が中心となる準備室のような会議に加え、役員と学類長などの部局長を含めた会議も立ち上げて既存組織の見直しを行いたい。農学系組織の構想と既存組織の見直しを並行して行い、学内の了解を得ながら進めていく。

- ・農学系教育研究組織の規模や内容に関しては、新たな学類として設置するのか、または既存組織内に学科やコースとして位置づけるのか、様々な可能性を含め今後検討していく。また、検討組織の体制や検討対象などについてはあらためて教育研究評議会で示したい。

- ・学内調整について、農学系組織を平成 3 0 年度に設置するという目標に必ず間に合わせようとするものではなく、学内での過程を重視していくが、長く時間をかければ良いということではないという認識である。これから工程表を作成し、学内に示したい。

- ・報告書には、今回の調査の段階では農学系組織の「設置コンセプトが十分に決定されていない」とあるため、ニーズ等については方向性を決定した上で再度アンケートを実施したい。

また以下のような意見があった。

- ・時間が限られていることから会議の頻度も高くなると思うが、その都度きちんと学内に示し、決定事項のみが先行しないようにしてほしい。

- ・高校側と受入れる企業や団体側で、農学系に期待するものにずれがある可能性

があるのではないか。志望する若者にとって魅力のあるものになるように検討してほしい。

・農学系の内容について、農学のスタンダードを押さえつつ、福島県独自の、県や地域からの要望にも対応したものを作る必要がある。そのバランスが重要だろう。

審議の結果、提案は承認された。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

- (2) 「官公庁等定年退職者を対象とした特任教員制度の運用について」の改正について
中井学長から、資料2に基づき、第45回人事委員会（10月19日開催）において、個別学力検査等及び大学院入試における入試業務全般について職務可能となるよう、「官公庁等定年退職者を対象とした特任教員制度の運用について」を改正することを承認したので、同改正について提案するとの発言があった。

質疑の中で、これら入試業務は義務になるのかという質問があった。

それに対して、功刀副学長から、それぞれの学類の事情に合わせて運用してほしいことと、必要が発生すれば職務として義務は発生するとの説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

- (3) 学内諸規則等の制定について

- ① 「独立行政法人等の保有する個人情報の適切な管理のための措置に関する指針」及び「個人情報保護管理規則」について

功刀副学長から、資料3に基づき、総務省の「独立行政法人等の保有する個人情報の適切な管理のための措置に関する指針」の改正及びマイナンバー制度への対応のため、個人情報保護管理規則を改正することについて提案があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

- ② 「福島大学学類長選考規則」について

功刀副学長から、福島大学学類長選考規則第7条の運用について、福島大学学類長選考規則（平成27年10月30日改正）との条項を整合させる必要があるため、改正することについて提案があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

- ③ 「国際交流センター規則」、「国際交流センター運営会議規程」及び「国際交流セ

ンター特任教授等の選考に関する要項」について

小沢副学長から、資料5に基づいて、国際連携担当教員（特任教授等）の採用に伴う国際交流センター規則及び国際交流センター運営会議規程の改正、国際交流センター特任教授等の選考に関する要項の新規制定について提案があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

【報告事項】

（１） 国内出張宿泊事実確認書類の提出について

功刀副学長から、資料6に基づき、不正防止への対策強化・意識向上を図るため、宿泊を伴う国内出張の際は、宿泊先等からの領収書の提出を求めることとしたことについて報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

（２） 教育研究費の使用に関するコンプライアンス教育等実施計画について

功刀副学長から、資料7に基づき、今年度以降における教育研究費の使用に関するコンプライアンス教育等実施計画について報告があった。

田村評議員から、前回の理解度調査の文言について、曖昧な箇所があったので、文言を変更する等の検討をしてほしいとの意見があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

（３） 第3期中期目標・中期計画の確認事項について

中井学長から、資料8に基づき、平成27年6月末に提出した第3期中期目標・中期計画素案について、文部科学省から内容確認等があり、これを踏まえ役員懇談会（11月9日開催）、第70回運営会議（11月17日開催）で了承した修正点について報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

（４） 国立大学法人福島大学の平成26年度に係る業務の実績に関する評価結果について

功刀副学長から、資料9に基づき、平成26年度業務実績報告書に基づいた国立大学法人評価委員会からの評価結果の内容、学長談話等に加え、評価結果を踏まえた自己評価委員会の総括について報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

（５） 就業規則の制定等について

功刀副学長から、資料10に基づき、年俸制（業績評価制度）にかかる、就業規

則の制定及びマイナンバー制度にかかる、就業規則の一部改正についての報告と、また第250回教育研究評議会（10月20日開催）において報告した、公正研究規則の改正及び教育研究費の取扱いに関する規程の制定に伴う就業規則の一部改正病気休職者の復職にかかる就業規則の一部改正、ストレスチェック義務化にかかる就業規則の一部改正について、過半数代表者からの意見はなかったとの報告があった。

質疑の中で、今後のスケジュールについて質問があった。

それに対し、佐藤人事課副課長から、今後行う業績評価WGにて、各学類で検討した業績評価の評価詳細等について意見交換をし、その後各学類で決定するようになるという説明があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(6) 学系所属と研究費配分に関する整理について

千葉副学長から、資料11に基づき、環境放射能研究所において特別運営費交付金を財源とする正規教員が採用されたことに伴い、学系所属と研究費配分に係るルールの見直しを行ったことについて報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(7) 教員の学系所属について

小島統括学系長から、資料12に基づき、11月1日付の人事異動に伴う教員の学系所属変更及びそれに関連して特別運営費交付金で採用された環境研・正規教員の新規学系所属について報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(8) 「ふくしまの未来を担う地域循環型人材育成推進室要項」の制定について

小沢副学長から、資料13に基づき、地（知）の拠点大学による地方創生推進事業「ふくしまの未来を担う地域循環型人材育成の展開」を推進するための推進室の設置及びそれに伴う要項の制定について報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(9) 特任専門員（日本語教育担当）の採用について

小沢副学長から、資料14に基づき、10月19日付で国際交流センターに特任専門員（日本語教育担当）が採用となったことについて報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(10) その他

特になし